

6G × 超スマート社会

International Perspectives for 6G Communications towards Super Smart Society

2022.9.30 (金) 参加費無料
対面&オンライン(Zoom)開催

会場: 東工大蔵前会館 講演: くらまえホール 展示会: ロイヤルブルーホール

■ 午前の部 10:00-12:30 @くらまえホール

司会: 岡田 健一 (東京工業大学 工学院教授)

10:00- 開会挨拶
10:10 東京工業大学 理事・副学長 (教育担当) 井村 順一 氏

10:10- 来賓挨拶
10:20 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課長 金指 壽 氏

<基調講演 1> (オンライン)

10:20- 「5G/Beyond 5G/6G への向き合い方」
11:10 東京大学大学院 工学系研究科 教授
森川 博之 氏

11:10-11:25 休憩

<講演 1>

11:25- 「6G と NTT ドコモの取り組み」
11:50 株式会社 NTT ドコモ
永田 聡 氏

<講演 2>

11:50- 「AI×6G における NEC の研究技術」
12:15 日本電気株式会社
セキュアシステムプラットフォーム研究所・研究部長
岩井 考法 氏

超スマート社会推進コンソーシアムについて

12:15- 超スマート社会推進コンソーシアム 運営委員長
12:30 東京工業大学 副学長 (国際広報担当) / 工学院 教授
岩附 信行 氏

現地ではコンソーシアム参加機関の技術的取り組みや活動を紹介する

展示会 (12:30~15:00) を開催します

詳しくは Web をご覧ください

■ 午後の部 15:10-18:30 @くらまえホール

司会: 植松 友彦 (東京工業大学 工学院教授)

<講演 3>

15:10- 「大岡山 Beyond 5G 実証フィールドと
15:35 超スマート社会への展開」
超スマート社会推進コンソーシアム コーディネーター
東京工業大学 超スマート社会卓越教育院 院長、工学院 教授
阪口 啓 氏

<講演 4>

15:35- 「2030 年代の未来生活と Beyond 5G のシステム概念」
16:00 国立研究開発法人 情報通信研究機構
Beyond 5G 研究開発推進ユニット
Beyond 5G デザインイニシアティブ 長
石津 健太郎 氏

<講演 5>

16:00- 「6G に向けた技術課題とエリクソンの取り組み」
16:25 エリクソン・ジャパン株式会社
チーフ・テクノロジー・オフィサー
藤岡 雅宣 氏

16:25-16:40 休憩

<基調講演 2> (オンライン)

16:40- 「Metaverse-ready wireless networks!」
17:30 アーヘン工科大学 教授、
6GEM プロジェクトコーディネーター
Haris Gačanin 氏

<基調講演 3> (オンライン)

17:30- 「The Role of Digital Twins: an Implementation Perspective」
18:20 Digital Twin Consortium
Co-Chairman, Natural Resources Working Group
John Reynolds 氏

18:20- 閉会挨拶
18:30 東京工業大学 教授 工学院 院長 井上 光太郎 氏

■ 会場案内図

東急大井町線および目黒線
大岡山駅正面
オンラインをご希望の方は
Zoom Webinar に
ご登録ください



詳細・ご登録は QR コードよりご覧ください
English Program is available at our website.



主催: 超スマート社会推進コンソーシアム
共催: 国立大学法人 東京工業大学 超スマート社会卓越教育院
協賛: Beyond 5G 推進コンソーシアム、IEEE Japan Council、(公社) 計測自動制御学会、
(一社) 情報処理学会、(一社) 電子情報通信学会、(株) みらい創造機構、ほか依頼中
後援: 大田区、川崎市、目黒区、横浜市経済局 (一社) 蔵前工業会 ほか依頼中

■ 基調講演者 略歴



森川 博之 東京大学大学院工学系研究科 教授

1987年東京大学工学部卒業。1992年同博士課程修了。2006年東京大学大学院教授。モノのインターネット/ビッグデータ/DX、無線通信システム、クラウドロボティクス、情報社会デザインなどの研究に従事。電子情報通信学会論文賞(3回)、情報処理学会論文賞、ドコモモバイルサイエンス賞、総務大臣表彰、志田林三郎賞、大川出版賞など受賞。OECDデジタル経済政策委員会(CDEP)副議長、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)会長、Beyond 5G新経営戦略センター長、5G利活用型社会デザイン推進コンソーシアム座長、ブロードバンドワイヤレスフォーラム会長、総務省情報通信審議会部会長、電子情報通信学会次期会長等。著書に「データ・ドリブン・エコノミー(ダイヤモンド社)」「5G(岩波新書)」など。



Haris Gačanin, Professor, RWTH Aachen University / Project Coordinator, 6GEM

Haris Gačanin (IEEE F'20) received his Dipl.-Ing. degree in Electrical engineering from the University of Sarajevo in 2000. In 2005 and 2008, respectively, he received MSc and Ph.D. from Tohoku University in Japan. He was with Tohoku University from 2008 until 2010, first as a Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) postdoctoral fellow and later as an Assistant Professor. He joined Alcatel-Lucent Bell (now Nokia Bell) in 2010 as a Physical-layer Expert and later moved to Nokia Bell Labs as Department Head. Since April 2020, he has joined RWTH Aachen University. He is the head of the Chair for Distributed Signal Processing and co-director of the Institute for Communication Technologies and Embedded Systems. He is a fellow of IEEE and a distinguished lecturer of IEEE Vehicular Technology Society. He is a recipient of many awards from various organizations such as Nokia, IEICE Communications Society, Alcatel-Lucent, KDDI, JSPS, and IEEE.



John Reynolds, Digital Twin Consortium – Co-Chairman, Natural Resources Working Group

John Reynolds is the CEO of the Agile Fractal Grid. He is responsible for the company's operational functions as well as its technical strategies and plans. He is also co-chair of the Digital Twin Consortium for Utilities specializing in smart infrastructure for cities. Mr. Reynolds began his career at IBM where he participated in the manufacturing and distribution industries. Following these beginnings, Mr. Reynolds established Integrated Architectures, a boutique systems company responsible for organizing and launching large scale integration projects in the telecommunications and financial industries where disruptive change was required for success. Mr. Reynolds began working in 2013 with the electric power industry itself and the National Rural Electric Cooperatives Association addressing the requirements to decentralize the power grid. In support of these concepts, he created the Agile Fractal Grid corporation where he now serves as its CEO.

■ 超スマート社会推進コンソーシアム

超スマート社会推進コンソーシアムは、来たる超スマート社会(Society 5.0)を支えるリーダーを養成するために、人材育成から研究開発までを統合した次世代型社会連携教育研究プラットフォームを産官学が連携して共創することを目的として設立されました。現在、国立研究開発法人、自治体、民間企業などから約50機関が参加しています。

本コンソーシアムでは、参加機関と連携して、超スマート社会を創造するオープンイノベーションプラットフォームの構築を進めています。東京工業大学岡山キャンパス、ならびにすずかけ台キャンパスに7つの教育研究フィールド(スマートモビリティ、スマートロボティクス、量子科学、人工知能、スマートワークスペース、スマート農業、スマートビルディング)を構築し、最先端の超スマート社会の実現に向けた様々な研究・実証実験を行っています。また、現在、スマートインフラメンテナンスフィールドを構築中です。

スマートモビリティ



人工知能

スマートロボティクス

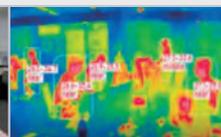


スマートワークスペース

量子科学



スマート農業



■ お問い合わせ

超スマート社会推進コンソーシアム事務局(東京工業大学内)
inquiry@sss.e.titech.ac.jp